



香ヶ丘商店街を中心とした浅香山地区のまちづくり



📍実施年度

2017年度～継続中

📍主な連携先・メンバー

堺市堺区教育・健全育成会議
(2020年4月1日廃止) / NPO法人
kokoima

📍活動地域

大阪府堺市 / 関西大学
堺キャンパス

👏活動の目的

大学と地域のつながりを商店街のみならず浅香山地区全体へとひろげ、地域活性化に寄与する。

👏連携にいたる経緯

2017年から浅香山地区で精神病患者の居場所作りを目指すNPO法人kokoimaと連携し、浅香山商店街の活性化に取り組んでいる。これまで、地域コミュニティとの夏祭り共催、学生が運営する子供スポーツ教室、学習支援をきっかけにした子供の居場所づくりなど学生による子ども支援を中心に実施してきた。これらの成果をさらに発展させるとともに、近年喫緊の課題となっているコミュニティでの共助を促す防災活動などにも取り組んでいる。

👏活動内容

【あたらしいあそびの場】

通常のスポーツ教室とは異なり、小学校低学年から高学年まで異なる年齢の子供たちが、楽しく遊びながら体力向上をはかる機会を設ける。スポーツが得意な子どもも苦手な子どもも遊びながら自由からだを動かす楽しさを体験することで、心身の成長につながる。

【関大防災運動会】

地域住民の災害対応能力を向上することを目的に、地域連携型防災イベントとして実施。これまでの防災行事は、防災訓練や救急安全講座など「防災」というイメージを前面に押し出したものが多く、子どもや防災に関心がない人が気軽に参加できるものではなかった。学生が企画運営を行うこの関大防災運動会では、「防災」だけではなく「スポーツ」というアクティビティ要素を追加したことで、家族で楽しみながら防災に関する知識を身に付けてもらうことができた。

【浅香山てらこや】

堺市内の小中学生を対象に、放課後の学童保育に行くことができない子どもや家庭で居場所がない子どもの居場所作りとして、NPO法人kokoimaのスペースを借り、大学生と一緒に学校の宿題や塾の課題を勉強し学習支援を行っている。

👏活動の成果

- 【あたらしいあそびの場】身体を動かす楽しさを体験してもらえた。異なる年代の子ども同士が関わることで、精神面での成長に繋がり、人間関係を円滑に進める上で必要なコミュニケーション能力を身に付けてもらうことができた。
- 【関大防災運動会】地域の多様な人たちが主体的に参加することで、防災活動の重要性について認識するようになり、防災に対する意識も変化し前向きに取り組もうという姿勢がうかがえた。

👏今後の課題・目標

- 【あたらしいあそびの場】保護者から、子どもの成長が目に見えて実感できたという意見をいただいている。今後も子どもたちに身体を動かす楽しさを知ってもらう活動を続けていく。
- 【関大防災運動会】スポーツ×防災のイベントは参加者の自助・共助を高めることに繋がり全国でも例のないユニークな取組みなので、今後もより多くの参加者を募って継続していきたい。
- 【浅香山てらこや】こうした場所を必要としている子どもたちを募ることは難しいため、子どもたちが気軽に訪れることができるよう工夫していく。

👤教員紹介

人間健康学部教授 村川 治彦 (むらかわ はるひこ)

東京大学文学部(宗教学宗教学科)を卒業後、米国に留学しCalifornia Institute of Integral Studiesで東西の身体技法と比較思想を学ぶ。博士論文で取り上げた「気」の研究をきっかけに、言語による体験の深化に関心をもつ。キルケゴールの「人生は振り返らなければ理解できないが、前を向かなければ進んで行かない」をモットーに、日常の様々な実践活動で経験したことを言語化し、反省し、共有するプロセスを教育活動に取り入れる試みを続けている。



事業
領域

堺市推進事業

子どもの体力・
元気力向上の推進

健康づくり・
地域福祉の推進

地域協働型事業
の推進

まちの
にぎわいづくり

人間健康学部推進事業

学生の
学び力向上

教育研究の
地域還元

教員の専門分野・
学生活力の活用

